

わらべうた(1)

「リトミックが外から与えられる音楽とするなら、わらべうたは内から溢れる音楽となり得る」と私は度々記している。語弊があるので、声を大にしては言わないのであるが、つい最近、長い間「積んどく書」となっていて、しかし必ずじっくり読もうと思っていた小泉文夫編集「わらべうた研究」を読み始め、私が感じていながらも証明できずにいたこのことについて、同じような考えが示されていた。長い一部、そのまま編集無しで記す。

「子どもたちが自ら作り出しているわらべうたの音楽性と何らかの意味で直接に結びつくような自発的表現が音楽教育の中で生かされて来ない以上は、どこまで行っても借りものの音楽文化でしかないという実感がわれわれにはある。それは、こうしたわらべうたの科学的な研究によって得られた子供の自発的創造性と、その子どもたちに与えられた外部からの音楽教育の内容との大きな隔たりから来るものである。」(p.248)

子供集団が消失し、子供集団内でのわらべうたの伝承が途絶え、わらべうたは標本のように楽譜に収められているものと化した現代では、やや、当てはまらない部分もあり、わらべうたはもう「死んだ」も同然の状況ではある。しかしながら、私が子供たちとわらべうたで遊んだり、親子でわらべうたで遊ばせると、「死んだ」はずのわらべうたが生き返り、子供たちが新たな遊びを付け加えたりもする。プリミティブな旋律。しかし、どこか懐かしく、また味わい深い。言葉は意味不明だったりもするが、語呂が面白く、尚且つ音(おん)に魅力がある。「死んだ」現代にあっても、わらべうたには底知れぬ可能性があると思えてならない。

西洋芸術音楽、ポップスやロックなどに、生まれた時から日常的に触れている現代の子供たちであるが、日本古来の旋律や言葉によるわらべうたは、現代の子供たちにもすーっと自然になじみ、素の自分と無理なく結びつき、その子の根源的音楽の源に作用するように思える。それゆえ、わらべうたは、子供の内から溢れる音楽に繋がっていると思えるのである。

もし、証拠は、と問われるならば、わらべうた教室にも参加していた私のピアノの生徒の音楽が、また、わらべうたを2歳から体験している私の娘の音楽も、長じて、非常に自然で伸びやかであること、また、相対音感が自然にきれいに身に付くこと、を上げることは出来る。

次号から、少しづつ、わらべうたについて記していきたいと思っている。

[中新井紀子]

第9回 西方音楽祭

●3月17日(日) 14:30～

オープニングコンサート(西方音楽館友の会第115回コンサート)

初々しいフレッシュな演奏、そして作品!

宇都宮短期大学音楽科学生によるコンサート

半田 奈々華 フルート 短大音楽科2年生

横山 琴音 声楽 短大音楽科2年生

若杉 空 箏 短大音楽科2年生

益子 徹 ピアノ 短大音楽科教員

宇都宮大学共同教育学部学生による作品発表コンサート

相澤遥:「旅人」～2台ピアノのために～(1台4手連弾編曲版)

演奏 相澤遥 ピアノ 宇都宮大学共同教育学部4年

中原由実加 ピアノ 宇都宮大学共同教育学部3年

平塚美音:7つの小箱

:驟雨

演奏 平塚美音 ピアノ 宇都宮大学共同教育学部4年

●3月20日(祝・水) 13:30～

リレーコンサート

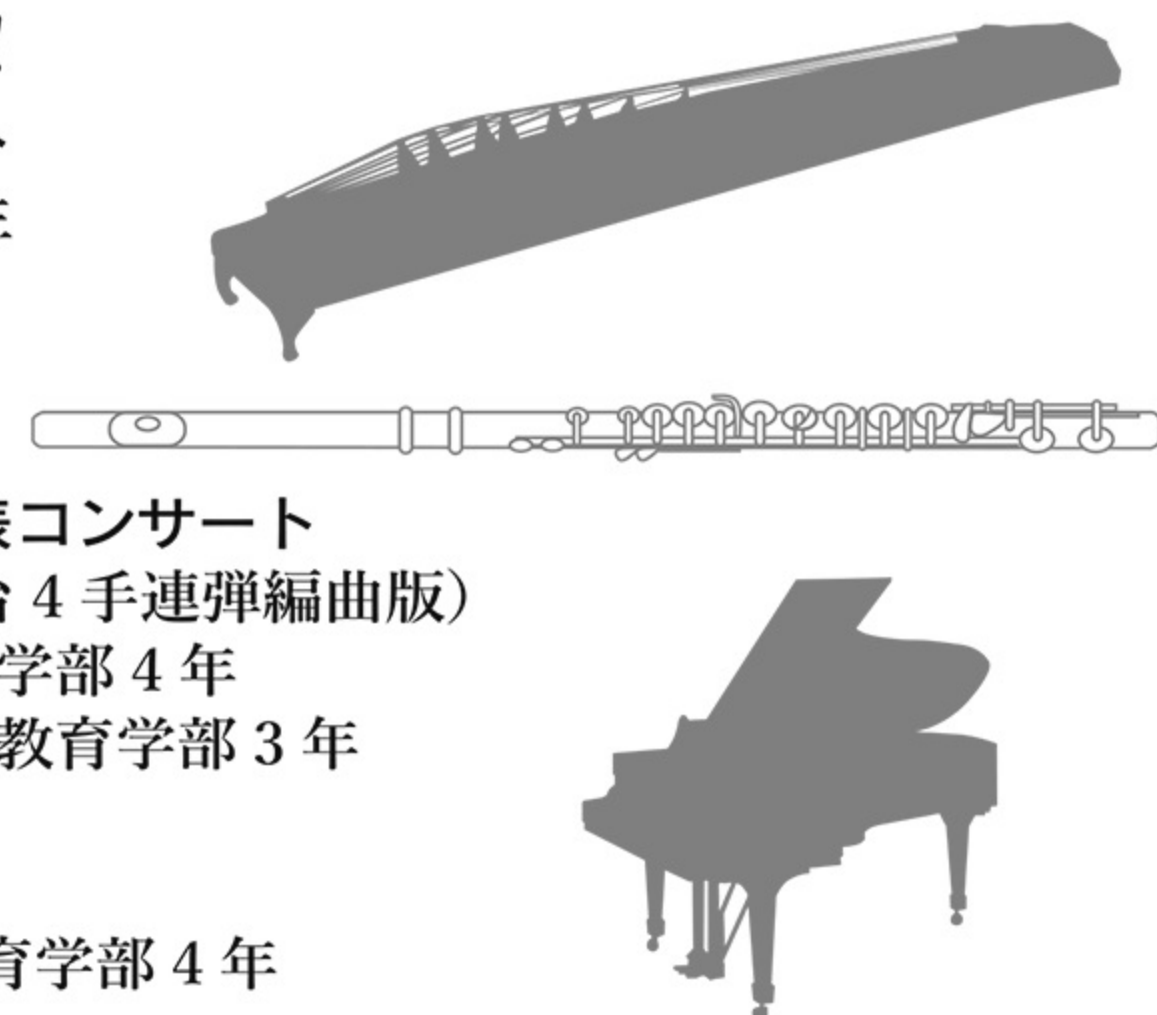
ニューヨークスタインウェイB、ワルターモデルフォルテピアノ、フレミッシュチェンバロ、小型パイプオルガンを弾いてみよう!

●3月23日(土) 11:00～

お花見わらべうた

親子で春のわらべうたで遊び、合間にチェンバロ、フォルテピアノ、ピアノの美しい音色にも耳を澄ませます。

わらべうたと演奏:中新井紀子



メインコンサート

●3月24日(日) 15:30～

ベートーヴェン ヴァイオリンソナタ

全曲演奏会シリーズ第2回

(西方音楽館友の会第116回コンサート)

色とりどりの花咲く季節に、春のソナタはいかが?

ヴァイオリン:廣海 史帆 フォルテピアノ:七條 恵子

曲目 ベートーヴェン:ヴァイオリンソナタ「春」ほか



●3月25日(日)

講師:七條恵子

ニューヨークスタインウェイB、および

ワルターモデルフォルテピアノのレッスン

●3月30日(土) 15:30～

七條恵子「2つのピアノで巡るウィーン」

～スタインウェイとフォルテピアノの

音色で探る旅路～

(西方音楽館友の会第117回コンサート)

昨年、驚異的な演奏で聴衆を魅了した七條恵子が、ウェーベルンとシェーンベルクをニューヨークスタインウェイBで、モーツァルトをワルターモデルフォルテピアノで、弾き分けます。



●4月6日(土)

講師:川口成彦

ニューヨークスタインウェイBのレッスン

●4月7日(日) 15:30～

川口成彦ピアノリサイタル

(西方音楽館友の会第118回コンサート)

ニューヨークスタインウェイBで奏でる、スペインの珠玉の作品、そしてショパン



●4月13日(土) 15:30～

国際古楽コンクール<山梨>入賞記念コンサート

ソプラノとチェンバロとフォルテピアノで贈る

17～19世紀の音楽(西方音楽館友の会第119回コンサート)

世界で活躍するソリストを目指すソプラノ歌手。

2023年度最高位。

チェンバロとフォルテピアノは、2022年度最高位。

ソプラノ:櫻井 愛子

チェンバロ&フォルテピアノ:加藤 美季

